

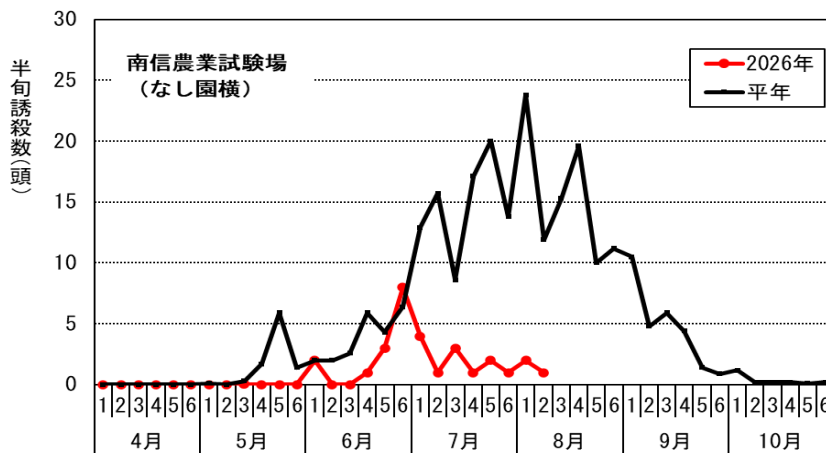
チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長〔令和8年((2026年)調査〕

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

○県予察ほ（高森町・南信農業試験場）



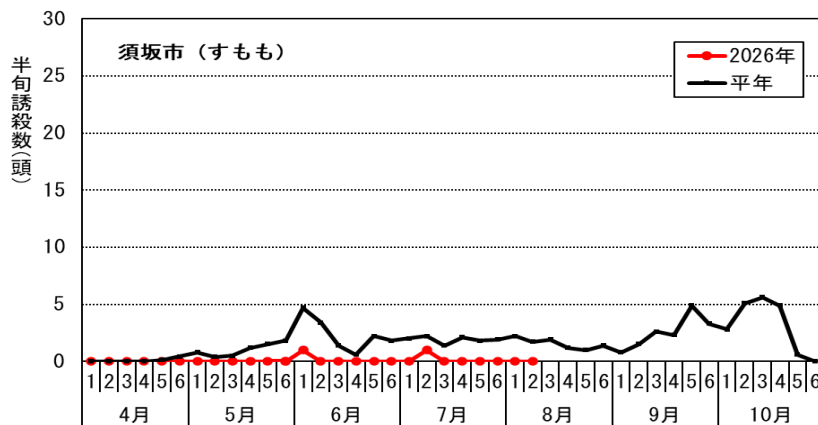
【調査地点】（標高 560m なし園隣接地）

- ・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

- ・平年と比較すると、誘殺される頭数がかなり少ない。通常7月下旬から8月上旬にかけて誘殺のピークを迎えるが、本年は、7月第1半旬以降は、一桁台の誘殺数が続いている。

○須坂市（病害虫防除部）



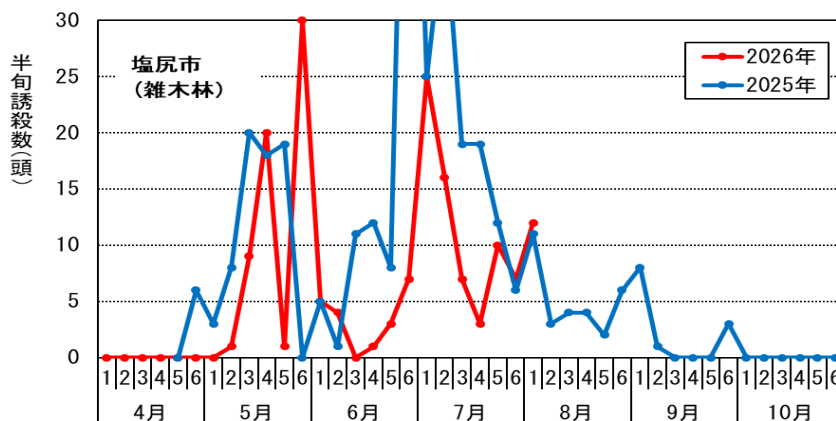
【調査地点】（標高 370m すももほ場）

- ・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

- ・7月第2半旬に1頭誘殺されて以降、誘殺されない状況がまだ続いている。

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】（標高 560m 雑木林）

- ・2025年から設置のため、平年値なし
- ・雑木林内に設置

【コメント】

- ・昨年は、7月上旬のピーク以降はおおよそ右肩下がりに誘殺数が減少したが、本年は、7月第4半旬以降、少し増加傾向がみられている。